

セブン  
7A私たちの  
スローガン  
です

思春期保健の推進  
安全な人工妊娠中絶  
どこでも誰もがサー  
ビスを受けられる  
啓発・提言活動  
STI及びHIV/エイズの予防  
高齢化社会対策  
児童虐待の防止

# 家族と健康

Reproductive Health

JFPA  
ジャファ

一般社団法人

日本家族計画協会

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館  
電話03(3269)4727 FAX03(3267)2658 <https://www.jfpa.or.jp>  
発行人：三橋 裕行 編集人：青田 陽

## 本会家族計画研究センター 2021年度事業実績報告

図1 思春期・FP相談LINE ※切り取ってお使いください。

### LINE相談やってます!

思春期の体についての心配ごとをお寄せください。  
質問には専門の相談員が、平日の10～16時の間に到着順に回答します。



LINE ID @183xqhfs

アカウント名「JFPA思春期・FP相談LINE」

※アカウント名で検索してもできません。

②マークから始まるIDで検索するかQRコードを読み取ってください。

回答時間：月～金曜日/10:00～16:00  
(祝祭日、年末年始12/29～1/5は休み)

※症状がある場合や急いでいる時は、医療機関で受診してください。  
※個々の症例について診断はできませんのでご注意ください。

### LINE相談、388件

現代の若者たちに馴染みのあるコミュニケーション・ツールの一つにメッセージングアプリ「LINE」がある。  
思春期の子どものための避妊や性に関する相談に、このLINEを使った相談事業「思春期・FP相談LINE」(図1)を21年4月から開設し、1年が経過した。

2021年度、家族計画研究センターで展開された事業のうち注目すべきは、思春期保健相談事業「思春期・FP相談LINE」をスタートさせたことである。相談件数は延べ388件であった。また、新宿区の住民を対象として行った新型コロナウイルス・ワクチン接種にも初めて取り組み、接種施設として新宿区から認可された21年6月から本年3月末までに延べ645人の接種を終えている。今号では、21年度のこれら事業を振り返るとともに、わが国のセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利、SRHR)を巡る大きな出来事などを報告したい。

(本会家族計画研究センター長 杉村由香理、本会会長 北村邦夫)

もなかった(図1)。  
以下、LINE相談の概要をまとめた。

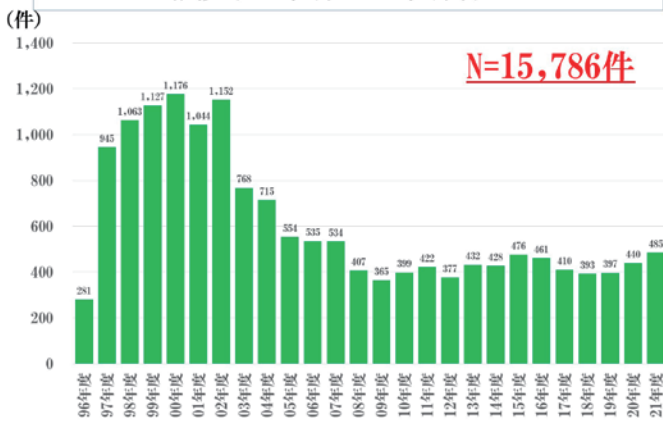
- 相談件数について  
は、同一人が同一テーマで繰り返しLINEしてきている場合は1件。同一人であっても、テーマが変わった場合には1件を加えることとした。往復回数は平均1.44回(最大8回)。
- 性別・男性124件(32.0%)、女性264件(68.0%)で、女性からの相談件数が男性を上回った。質問曜日・日曜日(29件)、月曜日(79件)、火曜日(60件)、水曜日(75件)、木曜日(57件)、金曜日(59件)、土曜日(29件)というように、電話相談とは異なる。回答は、月曜日が118件で最も多。未婚の別・未婚が285件で73.5%を占める。
- 職業・高校生(108件)、中学生(74件)、大学生(30件)、社会人(17件)の順に年齢・15～19歳が255件で最も、次の10～14歳69件、20～24歳46件、25～29歳20件、30～34歳10件、35～39歳10件、40～44歳10件、45～49歳10件、50～54歳10件、55～59歳10件、60～64歳10件、65～69歳10件、70～74歳10件、75～79歳10件、80～84歳10件、85～89歳10件、90～94歳10件、95～99歳10件、100歳以上10件。
- 相談者は本人が374件と最も多、次いで母親9件、父親2件、性別にみた相談内容(表1)。

### 「東京都不妊・不育ホットライン」ニーズは変わらず

1996年度から東京都が開始した「生涯を通じて女性の健康支援事業」の一環として、本会が受託した「東京都不妊・不育ホットライン」(現在は「東京都不妊・不育ホットライン」)が、8月10日(土)に実施された。通常は第3土曜日だが、8月は第2土曜日(13日)・10月は第4土曜日(22日)に実施する。以下、相談の概要をまとめた。

1. 開設日数は1年間で48日。相談件数は485件。性別・男性55件、女性430件。最近では男性からの相談が増加傾向にある。相談内容のあらましを表2(2面)に示した。相談を受けた相談員の判断で、複数の項目にチェックが入ることがあるが、不妊相談では「検査・治療について」が最も、次いで「家族に関すること」が続く。不育相談は「検査・治療について」「不妊の原因」が最も、次いで「家族に関すること」が続く。不育相談は「検査・治療について」「不妊の原因」が最も、次いで「家族に関すること」が続く。

図2. 『東京都不妊・不育ホットライン』相談件数の年度別推移 (1997年1月～2022年3月末)



#つながるBOOK表紙



#つながるBOOK QRコード

表1. LINE相談に寄せられた相談主訴 (性別)

|        | 男性 |        |        | 女性 |        |
|--------|----|--------|--------|----|--------|
|        | 合計 | 100.0% |        | 合計 | 100.0% |
| 自慰     | 25 | 20.2%  | 妊娠不安   | 50 | 18.9%  |
| 包茎     | 14 | 11.3%  | 月経     | 42 | 15.9%  |
| 性器     | 13 | 10.5%  | 緊急避妊   | 36 | 13.6%  |
| 性欲     | 10 | 8.1%   | STD    | 21 | 8.0%   |
| 妊娠不安   | 10 | 8.1%   | 性交     | 15 | 5.7%   |
| 射精     | 7  | 5.6%   | 性交     | 12 | 4.5%   |
| 避妊     | 5  | 4.0%   | 自慰     | 11 | 4.2%   |
| 緊急避妊   | 5  | 4.0%   | 病状     | 11 | 4.2%   |
| 男女交際   | 4  | 3.2%   | 精神・心   | 8  | 3.0%   |
| 二次性徴   | 3  | 2.4%   | 男女交際   | 8  | 3.0%   |
| STD    | 2  | 1.6%   | 性器     | 6  | 2.3%   |
| 病状     | 2  | 1.6%   | 二次性徴   | 6  | 2.3%   |
| 避妊     | 2  | 1.6%   | 避妊     | 5  | 1.9%   |
| STD    | 2  | 1.6%   | 問題行動   | 4  | 1.5%   |
| 妊娠     | 1  | 0.8%   | 妊娠     | 3  | 1.1%   |
| 精神・心   | 1  | 0.8%   | 中絶     | 2  | 0.8%   |
| その他性知識 | 8  | 6.5%   | 性欲     | 1  | 0.4%   |
| その他    | 6  | 4.8%   | その他性知識 | 3  | 1.1%   |
| 不明     | 1  | 0.8%   | その他    | 18 | 6.8%   |
|        |    |        | 不明     | 2  | 0.8%   |

## うるおい不足によっておこる性交時の痛みや違和感を緩和

JEX  
ジェクス株式会社

デリケート部のうるおい不足に  
●無臭・無色透明。  
●自然でめらかな使いごこち。  
●さらとした水溶性。  
●殺菌処理済。  
●アレルギーテスト済。

ささらとした  
自然なうるおい。  
リューブゼリー  
内容量 55g  
1,100円(税込)  
内容量 110g  
1,980円(税込)

とろとろ  
なめらかに広がる  
温感タイプのゼリー  
リューブゼリー  
Hot  
内容量 55g  
1,100円(税込)

容器から  
直接ゼリーが  
塗れる  
リューブゼリー  
デリケートイン  
内容量 6g×4本  
1,100円(税込)

プレミアムな  
うるおい長持ち  
リューブゼリー  
PREMIUM  
内容量 55g  
1,650円(税込)

うるおい不足は  
誰にでも起こります。

- 更年期や華麗に伴う身体的な変化
- 職場・家庭におけるストレスの蓄積
- 不規則な生活、過度なダイエット
- 授乳期・出産後など



# 2022年度 健やか親子21全国大会 (母子保健家族計画全国大会) 開催決定

速報

大会テーマ

目指そう！笑顔でゆったり子育て  
～つないで広がる支援の輪、みんな親子の応援団～



健やか親子21

2022年度の健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)を、10月27日(木)から28日(金)までの2日間、島根県民会館(島根県松江市)で開催します。

全国の母子保健および家族計画関係者の皆さまの多くのご参加をお待ち申し上げます。

## 2022年度 健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)のご案内

**主催** 厚生労働省／島根県／松江市／社会福祉法人  
恩師財団母子愛育会／一般社団法人日本家族  
計画協会／公益社団法人母子保健推進会議

**共催** 島根県小児保健協会

**会場** 島根県民会館(松江市殿町158)

**参加費** 無料

### 主な日程

10月27日(木)

- ・式典(主催者挨拶、表彰、来賓祝辞、受賞者謝辞、次期開催県挨拶)
- ・特別講演 演題「お産の現場から考える子育て支援(仮題)」  
講師：荻田和秀氏(りんくう総合医療センター 産婦人科部長)
- ・母子保健推進員等及び母子保健関係者全国集会
- ・愛育班等組織支援担当者会議

10月28日(金)

- ・家族計画研究集会(下記参照)
- ・全国母子保健推進員等連絡協議会正副会長会議
- ・シンポジウム テーマ「多職種で見て、つないで、支える子育て支援」  
基調講演 講師：鈴宮寛子(福岡輝栄会病院 医師・元島根県職員)  
パネルディスカッション  
コーディネーター：竹谷健(島根県小児保健協会 会長)  
パネリスト：渡辺浩(わたなべこどもレディースクリニック 院長)  
山本喜久子(山本助産院 助産師)  
原利江(松江市子育て支援センター 保健師)ほか

詳細は、本会ホームページなどで追ってお知らせいたします。

2日目

## 家族計画研究集会in島根

10月28日(金) 子宮頸がん予防、  
HPVワクチンをテーマに開催

2022年度の「家族計画研究集会」は、10月28日(金)、10時30分から島根県松江市の島根県民会館中ホールにおいて、「子宮頸がん予防、今からでも遅くない」HPVワクチン積極的接種勧奨再開についてご存じですか」をテーマに開催します。いま改めて子宮頸がん予防について考えてみませんか。

| 2022年度<br>家族計画研究集会                                           |                                                                                                                 |
|--------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【主催】 本会                                                      | 【会場】 島根県民会館<br>中ホール(松江市殿町158)                                                                                   |
| 【日時】 10月28日(金)<br>10時30分～12時30分<br>(受付開始10時)                 | 【対象者】 保健師、助産師、看護師、医師、薬剤師、養護教諭、教職員、その他関心のある方                                                                     |
| 【参加費】 無料                                                     | 【プログラム】<br>講演1「子宮頸がんを巡って今、何が起きているか」<br>講師：本会会長 北村邦夫<br>講演2「改めてHPVワクチン接種の大切さ考える」<br>講師：大阪大学大学院医学系研究科産科婦人科学講師 上田豊 |
| 【テーマ】 「子宮頸がん                                                 | 予防、今からでも遅くない」HPVワクチン積極的接種勧奨再開についてご存じですか」                                                                        |
| 【パネルディスカッション】 「子宮頸がん予防、今からでも遅くない」HPVワクチン積極的接種勧奨再開についてご存じですか」 | パネリスト：北村邦夫、上田豊<br>進行：本会家族計画研究センター長 杉村由香理                                                                        |
| 【申込方法】 詳細は、本会ホームページなどで追ってお知らせいたします。                          |                                                                                                                 |

## 「こども家庭庁」関連法・「こども基本法」が成立、「改正児童福祉法」公布

6月15日、第208通常国会が閉会した。本国会では、「こども家庭庁」関連法、おおよそその関連法、「こども基本法」が賛成多数で可決、成立した。これにより政府は、少子化や児童の虐待、子どもの貧困などの問題について省庁縦割りを打破

また本国会では、「児童福祉法等の一部を改正する法律」が成立・公布された。これにより市区町村は今後、こども家庭センターや相談機関の整備などに努め、子育てに困難を抱える世帯が顕在化してきている状況に対応していく。

1999年から感染症(6月27日～7月3日)の時点での梅毒の累計患者数は5615人に上り、過去最多を記録した昨年(3298人)の同時期(3298人)と比較すると、約1.7倍のペースで増加している。

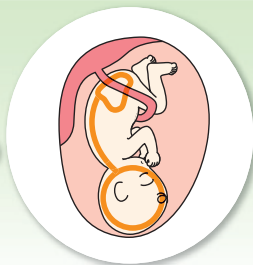
## 梅毒半年で5千人超

昨年の1.7倍ペース

交など性行動の多様化だけでなく、SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)などの普及によって、簡単に見知らずの男性と出会い、アルバイト感覚でカジュアルなセックスが行われ感染を拡大させているのではないかと分析する専門家が、早期発見、治療が可能であることなど科学的・具体的な情報を積極的に提供していく必要がある」としている。

## 子育てはお腹の中から

指をなめ、手元を見ている  
理想的なまるい胎内姿勢  
を目指して！



「健やか親子21」  
応援メンバーです



妊娠期のお腹を優しく  
支え上げる  
詳しくはこちら



ゆるんだ骨盤を支え、腰を  
安定させる  
詳しくはこちら



トコちゃんベルトと骨盤ケアが 先端医療技術研究所 出版  
技術資料として収録されました。▶「臨床医のための最新産科婦人科」

トコちゃんベルトの青葉

検索



骨盤ケアとマタニティ&ベビーケア用品  
トコちゃんベルトの青葉

機関紙「家族と健康」WEB版  
第818号～821号 (2022年5月号～8月号)

## 掲載記事一覧

※敬称略

### 第818号 (2022年5月1日発行)

- ・ピル承認秘話  
～わが国のピル承認がこれほど遅れた本当の理由(わけ)～  
(第50話) 公衆衛生審 低用量ピルで報告書提出先送り  
市谷クリニックへようこそ！  
(思春期・FP相談LINE相談員 本村弥恵子)
- ・OC/LEPが私の医師人生をどう変えたか (23)  
OC/LEPは父とのバトルから患者に寄り添うツールへ  
(ジュノ・ヴェスタクリニック八田 八田真理子)
- ・【海外情報クリップ】  
緊急避妊薬に対する男性側の意識—サウジアラビア
- ・児童福祉週間にあわせて「こいのぼり掲揚動画」を公開—厚労省

### 第819号 (2022年6月1日発行)

- ・本会家族計画研究センター2021年度事業実績報告
- ・ピル承認秘話  
～わが国のピル承認がこれほど遅れた本当の理由(わけ)～  
(第51話) 6月16日に公衆衛生審議会が公開審議開催  
市谷クリニックへようこそ！  
(東京都不妊・不育ホットライン相談員 小林美貴)
- ・OC/LEPが私の医師人生をどう変えたか (24)  
山形のジャンヌダルクはピルの旗を振り続けます！  
(さとこ女性クリニック 井上聡子)
- ・【海外情報クリップ】  
薬剤師によるホルモン避妊薬の処方—スイス
- ・2022年度「禁煙週間」始まる—禁煙や受動喫煙対策を推進
- ・屋外・屋内でのマスク着用についてのリーフレットを作成—厚労省
- ・熱中症予防のための新たな情報発信  
「熱中症警戒アラート」運用スタート—環境省・気象庁
- ・梅毒患者数前年同期比1.7倍—国立感染症研究所
- ・子ども政策の司令塔 こども家庭庁設置法が成立
- ・2022年版「子供・若者白書」公表 (内閣府)
- ・2022年版「少子化社会対策白書」公表 (内閣府)

### 第820号 (2022年7月1日発行)

- ・ピル承認秘話  
～わが国のピル承認がこれほど遅れた本当の理由(わけ)～  
(第52話) 女性議員有志らが要望書提出  
市谷クリニックへようこそ！ (相談員 岡良子)
- ・OC/LEPが私の医師人生をどう変えたか (25)  
目指すは少しお節介な町の産婦人科医  
(くすもと産婦人科 楠元雅寛)
- ・職域保健の現場から (51) 大学における産業保健活動  
～教育研究機関および医療機関での取り組み～  
(高知県産業保健研究会 松崎由紀)
- ・【海外情報クリップ】  
女性ホルモンによる免疫力の増強—スウェーデン
- ・第208国会「こども家庭庁」関連法・  
「こども基本法」が成立、「改正児童福祉法」公布

### 第821号 (2022年8月1日発行)

- ・ピル承認秘話  
～わが国のピル承認がこれほど遅れた本当の理由(わけ)～  
(第53話) 小泉純一郎厚生大臣への直訴状  
市谷クリニックへようこそ！ (相談員 廣瀬和美)
- ・【海外情報クリップ】  
医学部教育の中のLGBT患者対応カリキュラム—英国  
ほか

供し続けていく。

性交痛をやらわける潤滑ゼリー「リユーフゼリー」<sup>®</sup>の発売から10年余りが経過したところ、本会には「リユーフゼリー」<sup>®</sup>をセックスの目的ではなく日常的ケアに使用したい「外陰部の乾燥への日常的ケアを目的とした製品を」との声が中高年女性の方から多数寄せられていた。女性は更年期を迎えると、女性ホルモン

1997年、従前一括としていた「潤滑」ゼリーを「潤」と「滑」に分けて捉え、「滑」はこれまでリユーフゼリー「潤」として「デリケートゾーン」の保湿として「化粧品」として発売

メノケアモイストゼリー (現行品)

幅広い世代から支持

これからも女性に寄り添うフェムテックのサービス

## デリケートゾーンの保湿という新しい提案

一つである。

「化粧品」として発売

幅広い世代から支持

これからも女性に寄り添うフェムテックのサービス

1982年10月、日本家族計画協会(本会)は日本で初めて潤滑目的の「リユーフゼリー」<sup>®</sup>を発売し、その普及によりこれまで隠れていた「性交痛」という問題を、ヘルスの面から陽の当たるテーマに発展させることができました。その一方で、主に中高年女性から「デリケートゾーンの乾燥への日常的ケアを目的とした製品を」との声が数多く寄せられており、それに応え本会は93年、新たな製品の開発に乗り出すこととなりました。

初となるデリケートゾーンの登場により、本会は「潤」と「滑」二つの製品を持つこととなった。

成分は、水、グリセリン、アクリルロイルジメチルタウリンアンモニウム(VP)コポリマー、フエノキシエタノール、乳酸。水溶性でpHの値は腔周辺部に近いpH4.0～4.5の弱酸性で、安心して肌に塗布できる商品となっている。

表1 メノケアモイストゼリーを使用した個人の感想

※個人情報に配慮し、感想の文章を一部加工しております。

# 40年前からフェムテック

2

※フェムテックとはFemale(女性)とTechnology(技術)からなる造語で、月経や妊娠、産後ケア、更年期、婦人科疾患などの女性が抱える健康上の課題をテクノロジーで解決できる製品やサービスを指す。広義には、テクノロジーにとらわれず、女性の健康の向上を目指す製品・サービス・業界カテゴリーを示す場合もある。

使用時はおおむね真珠粒大(0.5g)をデリケートゾーンに塗布することで、保湿効果が得られ、べたつき感を抑え、さらさら感と適度の滑らかさを保つ。

この商品の登場は、外陰部やその周辺の乾燥によって不快感などを持つ中高年女性に朗報をもたらした。同商品を外陰部に乾燥所見のある更年期以降の女性60名に使用してもらったところ、80%の方が満足したと答えている。

閉経後、乾燥に悩み、ネットで購入。自分にはとても良く手放せない商品になった。リピートで購入している。

病院でおすすめされ使用。カミソリ処理後のヒリヒリも治まり保湿力もあって助かった。

脱毛後の保湿のため購入。今まで悩まされていた乾燥による痒みが軽減された。値段も手頃なので継続して使用したい。

塗った時しみないし、べとつかず、チューブで使いやすい。

# 闘うあなたを、独りにしない。

必要なのに顧みられない薬があります。

私たちが創ります。あなたが待ち望むその薬を。

Nobelpharma

ノーベルファーマ株式会社

ノーベルファーマのフィロソフィー  
必要なのに顧みられない医薬品・医療機器の  
提供を通して、社会に貢献する

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目17番24号 NMF茅場町ビル  
https://www.nobelpharma.co.jp

医療関係者向けサイト NobelPark https://nobelpark.jp/

製品に関するお問い合わせ 0120-003-140 (土・日・祝日、会社休日を除く)

